

新型コロナウイルス感染症予防についての対応

(定例野外グループおよびディトリップ)

公益財団法人東京YMCA
ウエルネス事業部 野外教育・ユース MD
鳩山徹郎

新型コロナ感染症につきまして、皆様のご理解とご協力をいただきながら、プログラムを安全に実施できておりますことに心より感謝申し上げます。2023年2月、政府の新型コロナウイルス感染症対策本部において、「マスク着用の考え方の見直し等について」が決定され、令和5年3月13日以降、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。ただし政府は、医療機関訪問の際や混雑した電車やバスを利用する際など、感染防止対策としてマスクの着用が効果的である場面などを示し、一定の場合にはマスクの着用を推奨しています。それを受け、定例野外グループおよびディトリップに関しては、以下の対策をとりながら、引き続き安全・安心を最優先し、心と身体の成長を支援していくため、プログラムを実施していきます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この「新型コロナウイルス感染症予防についての対応」は状況（特に感染症法上の位置づけが5類に移行する5月8日以降）により内容の変更・追加も想定されます。その際は、YMCAよりお知らせいたします。

▼プログラム参加中

- ・ 原則、マスクの着用は、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断を基本といたします。
- ・ 混み合う電車やバス乗車時、あるいは混雑した施設内については、感染リスク軽減のためマスクの着用を推奨いたします。
- ・ 室内プログラムの場合は定期的な換気・消毒を行い、総じて屋外・屋内に関わらず「密閉空間」「密集場所」「密接場面」が発生しないように努めます。
- ・ 食事前を中心として、適宜、手洗い等の手指衛生に努めます。
- ・ 体調の変化についてスタッフやリーダーとコミュニケーションをとり、早めの対応を心がけます。

▼事前の体調管理・検温

- ・ 参加前に体調の確認を十分にご参加ください。特にプログラム当日、ご自宅出発前の検温にご協力ください。
- ・ 参加者本人または同居者が咳・のどの痛み・微熱、倦怠感、味覚・臭覚がない等の症状や少しでも体調がすぐれない場合は参加をお控えください。
- ・ 慢性的な肺疾患、循環器、腎臓、肝臓、神経、血液もしくは消化器官（糖尿病を含む）の疾患を持つ人（長い期間の治療を必要とし免疫力が低いとされる人）は、マスク着用等、リスク回避のための対策をご検討ください。
- ・ 発熱等の症状が生じた方は医療機関を受診して参加の承諾を得るようにお願いいたします。

▽発症した場合(症状が出た方)

- ・ 発症日を0日目とし、7日間が療養期間となります。症状軽快後24時間経過している場合はプログラムへご参加いただけます。(症状軽快とは：解熱剤を使用せず発熱がない状態で、呼吸器症状が改善傾向である状態)

▽陽性反応したが無症状の場合

- ・ 検体採取日を0日目とし、7日間が療養期間となります（5日目の検査キットによる検査で陰性を確認した場合は5日間、6日目の検査で陰性を確認した場合は同日の検査結果確認まで）療養期間終了後、引き続き症状がない場合はプログラムへご参加いただけます。

▽濃厚接触者の場合

- ・ 濃厚接触者については、基本的に同居家族を濃厚接触者が想定されておりますが、保育園や小学校については厚生労働省の事務連絡を基に、感染拡大のリスクを考慮した上で濃厚接触者の特定と行動制限を各施設の担当課と連携して行っています。濃厚接触者の特定に関しては各施設にご確認ください。なお、濃厚接触者と特定された場合は、5日間はプログラムへの参加をご遠慮ください。

▼プログラム参加後

- ・ 数日以内に新型コロナウイルス感染症の発症もしくは可能性がある症状がありましたらYMCAまでその旨お知らせください。
- ・ スタッフを含むプログラム参加者で陽性者が出た場合は、保健所などの指示に従って対応いたします。
- ・ 濃厚接触の疑いのある方へはお電話にてご連絡いたします。感染拡大防止の観点のみでのお知らせです。感染者が特定されないように個人情報には十分留意いたします。

▼スタッフ・リーダーの対応

- ・ スタッフやリーダーの体調管理を徹底して行います。発熱及び風邪の症状がある場合は活動に参加いたしません。同居者に同じ症状がある場合も同様とします。
- ・ スタッフやリーダーも、原則、マスクの着用は個人の判断が基本といたしますが、混雑する電車やバス内はマスク着用を基本とします。

▼プログラムを中止にする場合

- ・ 感染拡大等によって安全な実施が不可能と判断される場合は、プログラムを中止いたします。
※定例野外グループについては、当面の間、参加費は参加後のお支払いとさせていただきます。